

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

センター祭が戻ってきました! みんなで一緒に!

第44回 おぎくぼセンター祭



★日時:6月5日(日) 午前10時～午後4時 ★会場:荻窪地域区民センター

中止・延期または内容が変更になる場合があります。ホームページなどで確認してください。

荻窪地域区民センター協議会 ☎03-3398-9127 HP:<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>

苗木配布:午前10時30分より

おひとり1本(先着150名)

「苗木で募金」にご協力をお願いします。



主婦に大人気!
杉並新鮮野菜

売り切れ次第終了
買い物袋をご持参ください。

地球を離れて宇宙を探索してみよう!

事前
申込制
仮想宇宙空間
シミュレーション

※日程上、申込みは5月22日に締切りしました。

●舞台プログラム

演目	
午前	和太鼓
	舞踊ソーラン節
	祭囃子・獅子舞
午後	落語
	出前講座
	日本舞踊
	ヒップ・ホップ・ダンス

●体験・展示

似顔絵(有料)	食問題・栄養相談
模擬消火	パネル展示
骨強度測定	マイバッグプレゼンなど
肌・血管年齢測定	
発電体験など	かわいい動物写真
花販売	祭の写真展示

※出演者名・出展者名は紙面の都合上記載しておりません。悪しからず、ご了承ください。

お願い

- ★飲食はできません。
- ★マスク着用 ★検温
- ★手・指の消毒
- ★お名前・連絡先の記入
- ★必要な方は水筒持参
- ・ソーシャルディスタンスにご協力をお願いします。



主催:荻窪地域区民センター協議会

これからのスケジュール

6月

- 5日(日)「おぎくぼセンター祭」
- 8日(木)・22日(木)・29日(木)「リズム&ストレッチ」講師 後藤鈴香
- 16日(木) 武蔵野の自然探訪
- 「善福寺池の四季」第1回 於、善福寺公園 講師・星野義延・星野順子

7月

- 4日(月)「講談出前授業(空母小)」 講師 神田山緑
- 12日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」 No.358 8月6日号発行
- 31日(日)「さいえんす緑」

8月

- 3日(日)・17日(土)・24日(金)「ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング」 講師 安藤操
- 6日(日) イベント「インドネシアを楽しむ」 協働先 インドネシアン・ヘリテイジサポーター
- 13日(土)「講談鑑賞会」 出演 神田山緑・一龍龍貞奈
- 28日(日) 地域交流会「よみゆに亭カフェ」

9月

- 15日(土) アメリカ文学鑑賞 「アメリカは夫婦愛から始まる」 講師 渡辺信一
- 17日(日)・24日(土)・10日(日)・8日(土) 「初心者のための自分の一句を残しましょう」 講師 野崎海幸
- 17日(日)・10日(日) 「与謝野晶子と源氏物語」講師 神野藤昭夫
- 24日(土)・25日(日) アート展
- 27日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」 No.359 10月11日号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。

● 広報部 ● 総務部 ● 地域交流部 ● 事業企画部



近隣の高等学校訪問
第4回



地域の定時制高校としてのニーズに応える 東京都立荻窪高等学校



荻窪高校の馬飼野光一(まかいの・こういち)校長、延味道都(えんみ・みちと)副校長に取材しました。

★概要

荻窪高校の前身は1935年に開校した東京市杉並高等家政女学校で、戦後東京都立荻窪高校に移行しましたが、2007年に全日制を廃止し、現在は定時制(朝昼夜の三部制単位制)・普通科のみの都立高校です。在学期間は4年が標準です。生徒数は508名(2022年4月時点)、クラス数は一学年8組×4年の合計32クラスです。荻窪駅南口から徒歩5分の市街地に立地しています。

★荻窪高校ってどんな学校?

荻窪高校の最大の特徴は昼夜間定時制(朝昼夜の三部制)です。全日制の高校は授業数が1日6時間で通常3年で卒業するのに対し、三部制の荻窪高校は授業数が1日4時間なので4年での卒業が標準となります。また所定の単位を卒業までに取得する単位制を採用しているので、年次毎の進級・落第はありません。

荻窪高校ではこれまで、他部の授業も選択することにより3年間で卒業することができました。今年度(2022年度)の入学生からは他部選択だけでは3年での卒業はできなくなります。校外学修により3年での卒業の道もありますが、4年での卒業が基本となります。これは、全生徒にじっくりと基礎基本を身に付けてもらうため、学び直しも含めた学習の機会を充実させるためです。この大きな制度変更には不安もありましたが、今年度の入学者数は昨年度並みとなりました。

学校生活の華となる部活動は、仲間との触れ合いの貴重な場となります。バドミントン部・卓球部など複数の部活動が盛んで、全国大会や都大会などで好成績を収めています。平日は夕方1時間の活動に制限されているので、土日に活動する部もあります。



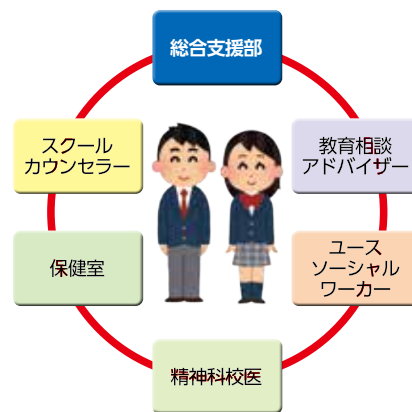
授業風景(選択科目)茶道



部活動 バドミントン部

★充実した支援体制、地域とのつながり

荻窪高校には全都非常珍しい「総合支援部」という組織があり、生徒への支援を行い、生徒自身では解決できない問題を含め、目の前の課題を処理しながら卒業を目指す支援をしています。スクールカウンセラー2名、教育相談アドバイザー1名、ユースソーシャルワーカー4名など充実した支援体制を敷き、発達障害や外国ルーツの生徒の支援を行うなど、荻窪高校の先進的な取り組みが評価され注目されています。



充実した支援体制

生徒の中には学校近くの商店街で働いている人もおり、地域とのつながりが重要と考えています。「荻窪っていいな!」と思ってもらうためにも、昨年度から荻窪地域区民センター協議会の広報紙「わたしのおぎくぼ」の全校生徒への配布を開始し、教員全員にも読んでもらっています。生徒には地域センターなどのイベントに参加する機会を設けたいし、将来的には地域活動の参加による単位取得ができるようにしていきたいとのことです。

★校長先生の思い

荻窪高校には様々な生徒が入学してきます。支援を必要としている生徒も多くいます。そういった生徒達がきちっと学校に通って、しっかり自分の進路を決めて卒業する。長い人生、高校でつまづかないよう、微力ですが、生徒の将来を見据え、今出来ることを実行していきたいと思います。

東京都立荻窪高等学校

住所: 〒167-0051 杉並区荻窪5-7-20 電話: 03-3392-6436
ホームページ: <http://www.ogikubo-h.metro.tokyo.jp>

イベント紹介

インドネシアを楽しもう

インドネシアについて楽しく学べるイベントです。

- ★8月6日(土)
- ★午前10時~午後1時
- ★荻窪地域区民センター

会場では写真・ポスターなどの展示を行っています。講座以外は予約不要です。直接会場へお越しください。

協働先
インドネシアン・ヘリテイジ・サポーターズ



講座①
作って遊べる工作自由研究



講座②
パティックバンダナ
制作体験



講座③
インドネシア家庭料理実習

※講座①②③は事前予約が必要です。詳細はP4の講座などのご案内をご覧ください。

「荻窪の記憶」

こぼればなし

戦争と記憶

「荻窪の記憶」は、地域に宿る記憶を掘り起こし、後世に伝えていこうという取り組みですが、世界中、どの町や村にも、そこに暮らす人々の記憶が宿っています。

ロシアが侵攻したウクライナも例外ではありません。テレビは連日、ロシア軍の無差別攻撃で瓦礫と化していく街を映し出していますが、爆撃で失われるのは形あるものだけではありません。そこに宿る無数の記憶もまた失われていくのです。以下、かけがえのない記憶とそれを奪う戦争をめぐって愚考したところを記してみました。

「目から消えるものは、心からも消える」とは、原爆ドームの保存運動を突き動かした少女の言葉です。原爆の記憶を風化させないためには目に見える廃墟のドームが必要だと訴えたわけですが、祖国の歴史を後世に伝えるために戦争で破壊され



連日テレビに流れるロシア軍の砲撃を受けた建物

た中世の町並をまるごと蘇らせた都市もあります。戦禍のウクライナから多くの難民を受け入れているポーランドの首都ワルシャワです。第二次大戦中、ワルシャワはナチス・ドイツによる徹底的な破壊によって、市の85パーセントが瓦礫と化しました。しかし、中世に遡る歴史をもつ旧市街は、戦後わずか3年で「壁のひび一本まで忠実」に復元されました。それを可能にしたのは、ワルシャワ工科大学建築科の教師と学生が密かに破壊前の建物を描き、隠していた3万5000枚もの図面とスケッチ、そして、「失われたものの復興は未来への責任である」と、瓦礫の山から使えるレンガを拾い集めた市民たちでした。

「歴史的建造物を残さないと、我々は記憶喪失になる」とは建築家・安藤忠雄氏の言葉ですが、ウクライナの首都キーウ（キエフ）は、ウクライナ、ロシア、ベラルーシに共通するルーツの地で、歴史的な町並みや建築に恵まれた古都です。その象徴が、市の中心にある聖ソフィア大聖堂と修道院。世界遺産に登録されていますが、だからといって、ロシア軍が砲を向けないという保証はありません。

ところで、この二カ月間、瓦礫と化す都市の映像を見ながら、筆者が感じていたのは強い既視感でした。それらの映像が、20世紀の二つの大戦をはじめ、旧ユーゴやシリアの内戦で破壊された都市の映像と瓜二つだったからです。

なぜ、人間は同じ愚行を繰り返すのか。都市を破壊し、かけがえのない人命と記憶を奪う戦争。何よりも望まれるのは一日も早いその終結です。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

令和4年度定期総会を実施しました

4月26日(火) 荻窪地域区民センターにおいて当協議会令和4年度の総会が開かれました。来賓をはじめ町会や商店会など地域団体の代表等約50名が新型コロナウイルス感染症対策のため2部屋に分かれて出席、令和3年度の事業・決算報告と令和4年度の事業計画・予算案が承認され、また新しい協議会委員4名が紹介されました。

茂木会長からは「当協議会は“センター祭”などのイベントや、多様な講座・講演会などを行い、これからも地域のお役に立てるよう頑張って参ります。地域の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。」とのメッセージが発せられました。



協議会の委員 (◎:部長, ○:副部長)						令和4年4月26日現在
役職・所属	氏名	住所	役職・所属	氏名	住所	
会長	茂木愛一郎	天 沼	地域交流部 (6名)	◎萬 靖義	荻 窪	
副会長	萬 靖義	荻 窪		○影山 健次	宮 前	
	惠羅 博	荻 窪		杉浦 和子	荻 窪	
会計監事 (2名)	伊藤 佳江	荻 窪		上田 昌子	清 水	
	桑山 務	天 沼		小野美和子	南荻窪	
(経理担当) 総務部 (3名)	◎大矢 正男	荻 窪		川村 優子	荻 窪	
	○船津まさ子	宮 前	◎横尾 耕一	荻 窪		
	杉原幸一郎	南荻窪	松崎茂一郎	宮 前		
地域交流部 (センターカレッジ部兼) (8名)	◎惠羅 博	荻 窪	広報部 (4名)	西村 淳一	荻 窪	
	○本田 良夫	天 沼		伊藤久美子	南荻窪	
	梁谷 貞夫	天 沼		協議会の事務局員		
	熊谷 伸成	宮 前		事務局長	吉川 英一	—
	堀川 秀夫	天 沼	職 員	岩井 智子	—	
	菊野 一雄	荻 窪		鈴木喜代美	—	
	香取 真実	本天沼				
	弘中 義夫	荻 窪				

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
武蔵野の自然探訪「善福寺池の四季」第1回	武蔵野三大遊水地の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。 ～第1回初夏 水辺の植物～水辺に生えているイグサ、ヨシ、マコモ、ハンノキ、ヤナギなどを観察します。 星野義延(元東京農工大学教授) 星野順子(東京環境工科専門学校講師)	6月16日(木) 午後1時30分に集合 集合場所:都立善福寺公園上の池ポート乗場前	15名	200円	6月7日(火)
さいえんす緑日	多彩な出し物で、サイエンスと遊びの楽しい緑日です。小学生の皆さんの参加を期待しています。親子での参加も大歓迎。(対象=未就学児(保護者同伴)、小学生) ※詳細はこのページの本文記事を参照	7月31日(日) 午後1時～4時	200名	100円	7月17日(日)
ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング	お腹を使った正しい発声を身につけると心地よい歌声になります。美しい合唱を楽しみましょう。 講師:安藤操(ヴォイストレーナー)	8月3日・10日・17日・24日 各水曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	7月17日(日)
インドネシアを楽しもう	インドネシアについて楽しく学べるイベントです。インドネシアに関するポスターや写真の展示の他に、下記①②③の講座を用意しました。 協働先:インドネシアン・ヘリテイジ・サポーターズ	8月6日(土) イベントの全体時間 午前10時～午後1時	-	-	直接会場へ
インドネシアを楽しもう関連講座 ①作って遊べる工作自由研究	飛び種折り紙、どうぶつマップ作成、パティックノート ※二部制です。申込時に⑥希望時間帯をご記入ください。(参加は小学生が対象です)	8月6日(土)※二部制 午前10時～11時 午前11時30分～午後0時30分	20名 小学生	無料	7月17日(日)
インドネシアを楽しもう関連講座 ②パティックバンドナ制作体験	インドネシアのろうけつ染めパティックでバンドナを作成します。(参加は小学校5年生以上が対象です)	8月6日(土) 午前10時～午後0時30分	15名 小5以上	2,000円 (材料費込み)	7月17日(日)
インドネシアを楽しもう関連講座 ③インドネシア家庭料理実習	料理した物は持ち帰ります/持ち物:エプロン、三角巾、布巾、お手拭きタオル、お箸、持ち帰り用のタッパー(参加は中学生以上が対象です)	8月6日(土) 午前10時30分～午後0時30分	12名 中学生以上	700円 (材料費込み)	7月17日(日)

【講座の申込方法】 4月から往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

- ◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛申込みください。
- ◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、Webメールで申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

講座紹介

武蔵野の自然探訪「善福寺の四季」第1回

武蔵野三大遊水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。

第1回は初夏 水辺の植物～水辺に生えているイグサ、ヨシ、マコモ、ハンノキ、ヤナギ等

講師:星野義延(元東京農工大学教授)
星野順子(東京環境工科専門学校講師)

集合:6月16日(木)
午後1時30分
都立善福寺公園上の池ポート乗場前

定員:15名
締切:6月7日(火)



受講生募集!

「すぎなみ大人塾荻窪コース」が始まります

～荻窪に自分の居場所・活動場所をつくろう～

大人の放課後＝「部活」を荻窪で始めたい皆さんを大募集! ずっと住み続けたいまち・荻窪を目指し、部活(例:子育てワイワイ部・我がまち探検部・身近なSDGs部・まちの放送部など)を立ち上げ、発表の場(文化祭)やその後の展開を目指し活動します。

日程:令和4年6/25、7/16、8/27、9/10、10/8、11/12、12/10
※いずれも土曜日 午後1時30分～4時30分(全7回)

詳細: [広報すぎなみ5月15日号](#)をご覧ください。

申し込み締切日:6月10日(金)

主催(問合せ先):杉並区立社会教育センター

☎03-3317-6621 Eメール:shakyo-c@city.suginami.lg.jp

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

イベント紹介

さいえんす緑日

日時:7月31日(日)午後1時～4時

会場:荻窪地域区民センター(全館使用)

*申込み方法は上記講座案内と同じで、締め切りは7月17日(日)です。参加費は100円。

多彩な出し物でサイエンスと遊びの楽しい緑日です。小学生の皆さんの参加を期待しています。親子での参加も大歓迎です。

【1階】

- 昆虫はおいしい?
- 缶バッチ
- ミウラ折り
- ポップコーンでミニ爆発だ!



【2階】

- 化学ペン教室
- お魚キャッチャー
- 日時計をつくろう
- 月齢早見盤づくり
- こっぴ屋さんと木工
- 自然と遊ぼう
- 竹とんぼ作り(竹とんぼ飛ばしは体育室)



【地下2階(体育室)】

- 紙ひこうき大会



荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

6月28日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
7月26日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。